

## 平成 21 年度推薦入試（生活科学科 生活科学専攻）解答例

### 【採点のポイント】

1. 解答全体の論理に一貫性があること。
2. 生活と環境の関わりについての問題意識が述べられていること。
3. 自分の考えや行動が述べられていること。

### 【解答例】

これまで、企業は利益を追求して商品の大量生産を行い、私たちは、便利で快適な生活を求めてそれら商品の大量消費を行ってきましたが、その結果、資源の枯渇が心配されると共に、大量の廃棄物や廃液、排気ガス等で環境が汚染され、深刻な環境問題となっています。

これらの環境悪化を防ぎ、環境と調和した持続可能な社会の中で、私たちが安心して生活していくためには、国や企業の努力だけでなく、私たち一人ひとりの意識改革や取り組みが必要であると考えます。社会や家庭で環境の保全を考えて、日常から環境への負荷の少ない生活を心がけることが大切であると思います。そのためには、私たちがすぐにできる身近で簡単なことから始めるのが良いのではないのでしょうか。

商品は資源やエネルギーを使って作られるので、私はそれらを使い捨てとせず、3つのR（リユース：再使用、リサイクル：再生利用、再資源化、リデュース：減量、余分なものを買わない、ごみを減らす）を実践しています。例えば、衣服を大切に長く着用し、着なくなった衣服は他の人に譲ったり、フリーマーケットに出すなどしています。また、古着の回収やごみの分別回収に協力しています。洗濯や台所での食器洗いの際、洗剤や水を必要以上に使わないように注意しています。台所からの生ごみを減らすために、食材を無駄にしないように調理したり、食べ残しを出さないように心がけています。また、飲み終わった飲料容器は分別回収用の箱に入れていきます。日常の買い物には買い物袋を持参し、過剰包装やレジで用意されている袋などは断っています。家電製品などの購入では家族で相談し節電や節水型のものを選んだり、一般の商品ではリサイクルしたものや環境問題に配慮した企業の製品を購入するようにしています。

これからも、資源や製品の浪費をなくすことができるように、自分自身や家族のライフスタイルの見直しを心がけたいと思います。（792字）